

SNSによるリスク情報の 拡散メカニズムの解明

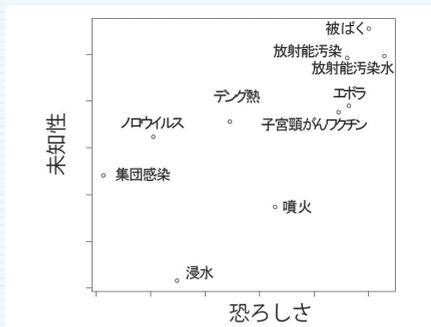


人間科学研究科

教授 三浦 麻子

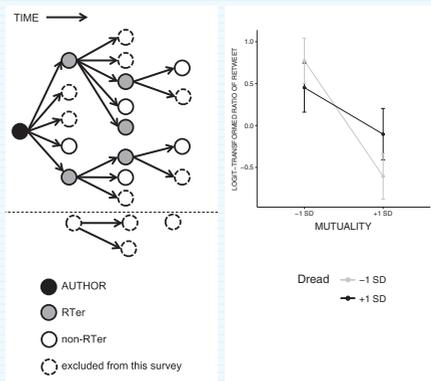
特徴・独自性

SNS上のリスク情報拡散メカニズムを解明するために、実際に広く拡散したツイートの伝達経路を追跡して、リスクのタイプと利用者個人のネットワーク特性に注目して分析した。SNS上に利用者同士のつながりをあまり持たない利用者は、リスクのタイプにかかわらず多くのリスク情報を拡散させる傾向があったが、多くのつながりを持つ利用者は、全体としてはリスク情報をあまり拡散させない一方で、「恐ろしさ」が強く感じられる情報については拡散させやすい傾向があった。これは従来の理論モデルでは説明できないSNSにおける情報拡散メカニズムの存在を示す知見である。



研究の先に見据えるビジョン

災害大国と呼ばれる日本では、災害が発生するたびに、インターネット上、特にSNSで様々なリスク情報が大量に飛び交うことについて賛否両論が渦巻く。実際のところは「デマばかりが溢れている」わけではないが、結果的に間違いだと判明するような不確実な情報が少なくないのは事実である。本研究の結果は、SNS特有の情報拡散メカニズムの存在を示唆すると共に、虚偽情報の拡散を抑制するには信頼性をきちんと確認する「ハブ」の存在が重要であることを示唆している。こうした知見は、政府機関や官公庁、地方自治体など一次情報の発信元から市民への情報伝達方法の提案に活かせる。



最後にこの研究の責任著者である大阪電気通信大学情報通信工学部・小森政嗣先生にこの場を借りて深く御礼申し上げます。



特許

論文

Komori, M., Miura, A., Matsumura, N., Hiraishi, K., & Maeda, K. (2019). Spread of risk information through microblogs: Twitter users with more mutual connections relay news that is more dreadful. *Japanese Psychological Research*, 63(1), 3-10.

三浦麻子・小森政嗣・松村真宏・平石界 (2019). ソーシャルメディアにおけるネガティブ情動の社会的共有—東日本大震災関連ツイートの長期的変化—, *エモーション・スタディーズ*, 4, Si, 26-32.

三浦麻子・鳥海不二夫・小森政嗣・松村真宏・平石界 (2016). ソーシャルメディアにおける災害情報の伝播と感情: 東日本大震災に際する事例. *人工知能学会論文誌*, 31(1), NFC-A_1-9.

三浦麻子・小森政嗣・松村真宏・前田和甫 (2015). 東日本大震災時のネガティブ感情反応表出—大規模データによる検討—, *心理学研究*, 86(2), 102-111.

小森政嗣・前田和甫・三浦麻子・松村真宏 (2014). マイクロブログにおけるパーソナルネットワークの特性と流言拡散行動の関係. *ヒューマンインタフェース学会論文誌*, 16(4), 277-284.

参考URL <https://sites.google.com/site/psybigdata/>

キーワード SNS、情報拡散、リスク情報、社会的ネットワーク、社会心理学